

## デジタル技術の活用及びDX推進の取組状況

### A. 経営の方向性及びデジタル技術等の活用の方向性の決定

#### a. デジタル技術が社会や自社の競争環境にどのような影響を及ぼすか

デジタル技術の急速な進展により状況の確認や照会については一瞬で情報システムが回答する時代を迎えています。最近では照会技術もさらに一歩進み、曖昧な問い合わせであっても質問の意図を探りながら回答し、現時点だけではなく近未来の状況についてもある程度の予測を回答することも技術に可能になってきています。社会の様々な場面でシステムが即答することに御客様が慣れてきていることから、当社事業にあっても「適正な買い取り価格の推定」や「在庫状況の確認」「引き取り・出庫までにかかる所要時間」について御客様に即答を求められる時代がやっています。

#### b. 上記を踏まえた経営ビジョンやビジネスモデル

当社は全国拠点への展開や大型車両の導入などで物理面での利便性を充実させてきました。今後はデジタル技術の進展を踏まえ、情報面でも御客様の利便性を充実させていきます。具体的には査定や在庫の回答に係るリードタイムを大幅に縮小し、御客様をお待たせしない経営を目指していきます。

### B. 経営ビジョンやビジネスモデルの実現のための戦略

全国拠点から一律にアクセスできる社内管理システムの構築を行い、業務プロセスの一元管理を実施致します。これにより御客様のご依頼について全部門で情報の共有が即時におこなえる体制を目指していきます。

### C. 戦略を推進するための実施体制

上記戦略を実現するため、代表取締役会長の酒井 百合子を CIO（最高情報責任者）に配置し、代表取締役社長の酒井 智浩を CISO（最高セキュリティ責任者）として配置します。上記2名を中心に社内一丸となってDX化に向けた取り組みを推進していきます。

令和5年7月27日

株式会社開店市場

代表取締役会長 酒井百合子